

今週のお祈り 大斎節第2主日特禱
全能の神よ、わたしたちには自らを助ける力のないことをあなたは知っておられます。どうか外は体を損なうすべての災いを防ぎ、内は魂を襲う悪念を除いてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



号外 290
発行日 2026年 3月1日

少しずつ春が近づいているなど感じられるようになりました。大斎節に入り2回目の日曜日です。心にイエスさまを迎え、お祈りしながら聖書のメッセージに耳を傾けましょう。気軽に教会に来てね(^_^)/

今週の聖書 ヨハネによる福音書 3:1-17

1 さて、ファリサイ派の一人で、ニコデモと言う人がいた。ユダヤ人たちの指導者であった。2 この人が、夜イエスのもとに来て言った。「先生、私どもは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神が共におられるのでなければ、あなたのなさるようなしるしを、誰も行うことはできないからです。」3 イエスは答えて言われた。「よくよく言うておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」4 ニコデモは言った。「年を取った者が、どうして生まれることができましょう。もう一度、母の胎に入って生まれることができるでしょうか。」5 イエスはお答えになった。「よくよく言うておく。誰でも水と霊とから生まれなければ、神の国に入ることはできない。6 肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。7 『あなたがたは新たに生まれなければならない』とあなたに言ったことに、驚いてはならない。8 風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。9 霊から生まれた者も皆そのとおりである。」9 するとニコデモは、「どうして、そんなことがありえますようか」と言った。10 イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分からないのか。11 よくよく言うて



聖書からのメッセージ 司祭 橋本克也

『神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。』この福音のみ言葉は、すべての人、私たち皆に告げられる喜びの言葉です。今日の福音に登場するニコデモは、神を信じて忠実に、また一生懸命に生きようとしていた人でした。でも自分の力によって神の救いの実現を求めていたのだと思います。ですから不安と不信に悩み続けていました。そのニコデモに、イエスさまによる「確かな神の救い」が告げられたのです。

おく。私たちは知っていることを語り、見たことを証しているのに、あなたがたは私たちの証しを受け入れない。12 私が地上のことを話しても信じないとすれば、天上のことを話したところで、どうして信じるだろう。13 天から降って来た者、すなわち人の子のほかには、天に上った者は誰もいない。14 そして、モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。15 それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。」16 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。17 神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。